



iMAR!

働くまち×
住みたいまち
iMAR!

令和6年度 【市長講話】

市政の動きについて

令和7年2月17日現在

伊万里市長 深浦弘信

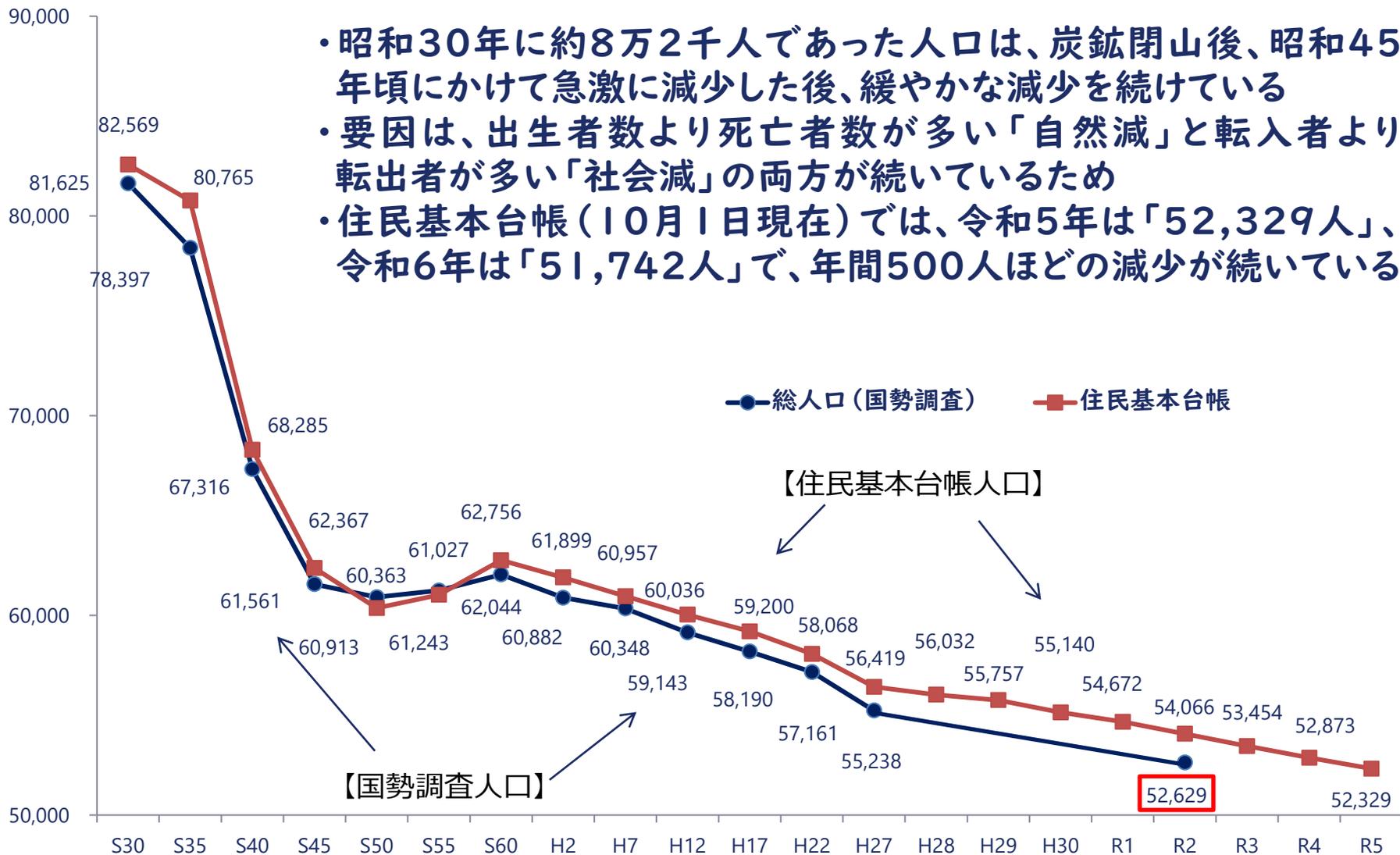
本市を取り巻く現状と課題



【現状と課題】 歯止めがかからない人口減少



- ・昭和30年に約8万2千人であった人口は、炭鉱閉山後、昭和45年頃にかけて急激に減少した後、緩やかな減少を続けている
- ・要因は、出生者数より死亡者数が多い「自然減」と転入者より転出者が多い「社会減」の両方が続いているため
- ・住民基本台帳（10月1日現在）では、令和5年は「52,329人」、令和6年は「51,742人」で、年間500人ほどの減少が続いている



資料：国勢調査・住民基本台帳（各年10月1日現在）

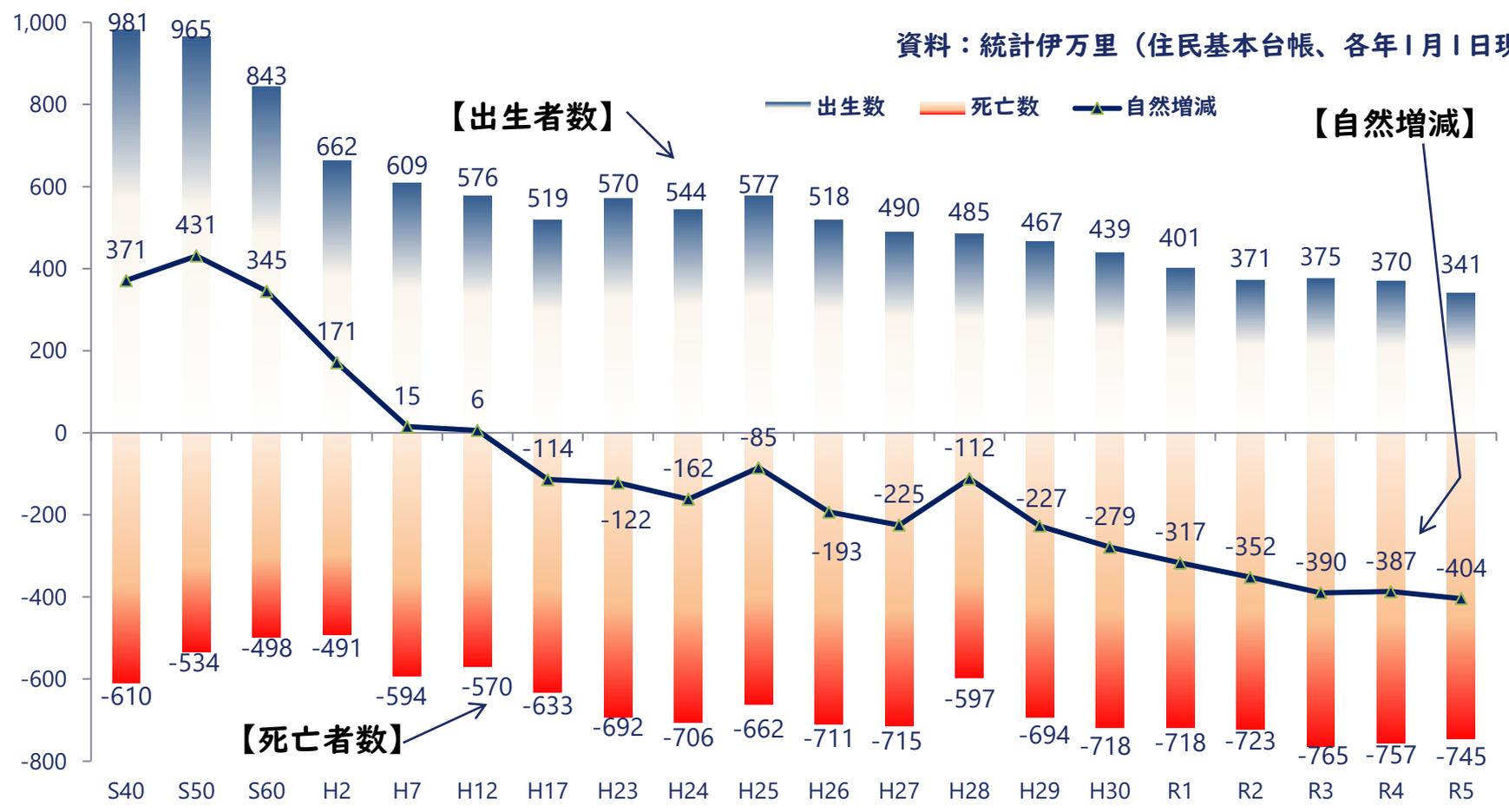
【現状と課題】 自然動態(出生数と死亡者数)の推移



- ・出生者数は、平成以降、緩やかに減少していたが、ここ数年は減少が大きく、令和5年は過去最少の341人となり、昭和40年の約3分の1になっている
- ・死亡者数は、増減を繰り返しながらも増加傾向にあるため、自然動態は平成15年から自然減が続き、ここ5年は自然減が拡大している

(単位：人)

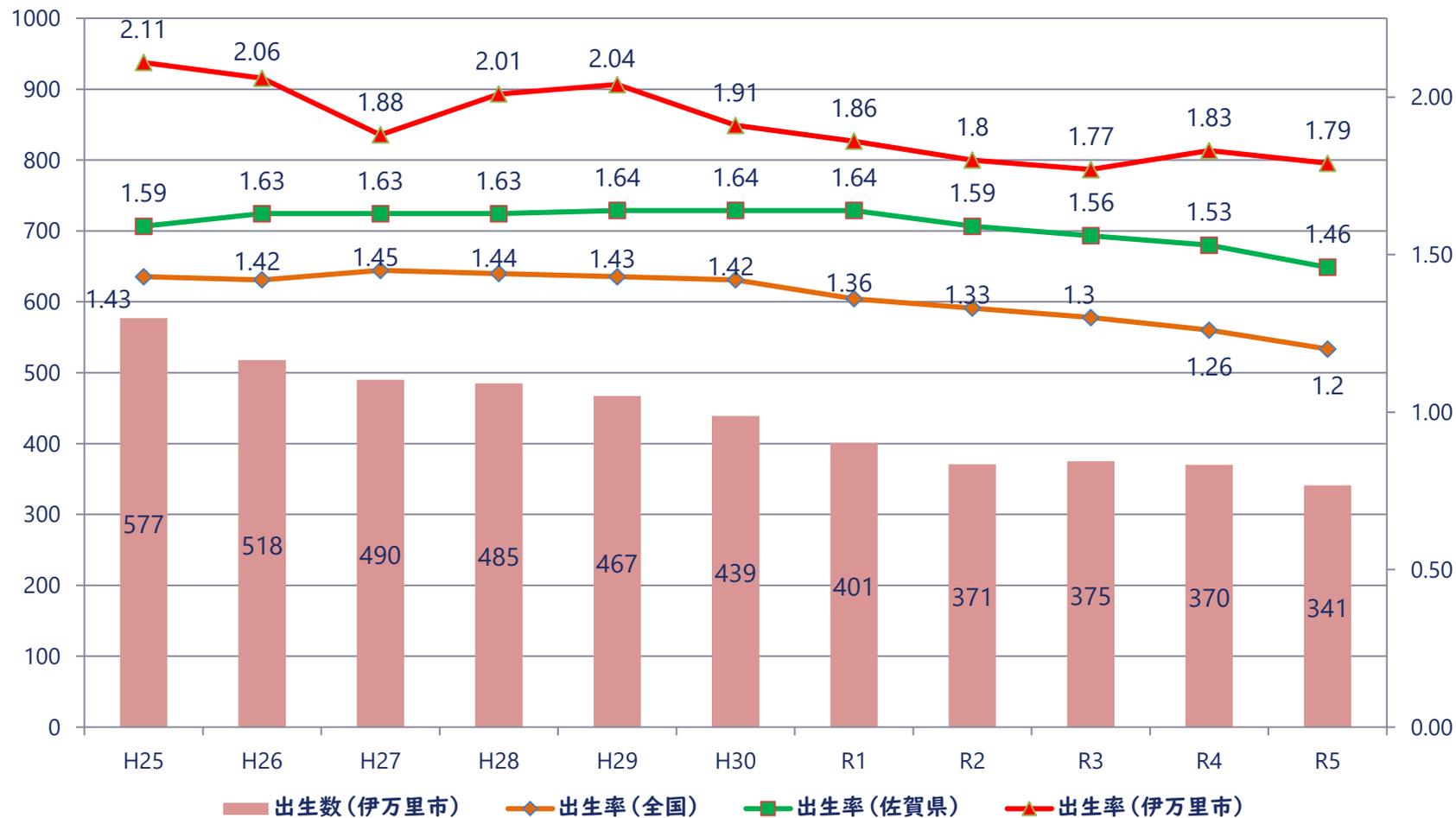
資料：統計伊万里（住民基本台帳、各年1月1日現在）



【現状と課題】 出生数と合計特殊出生率の推移



- ・本市の出生率は、平成25年に2.11と全国的にも高い数値となり、令和4年は1.83（概算値）と減少傾向にあるものの、全国や佐賀県と比較し高水準を維持している
- ・ただ、若い世代の女性の人口が減少しているため、出生数の増加につなげっていない



【現状と課題】 社会動態（転入者と転出者）の推移



・社会動態は転出超過が続いているが、令和5年は市内企業の大幅な雇用拡大をいかしたた移住・定住施策の拡充のほか、外国人転入者の大幅増加（前年比+149人）等により、転出超過が改善されつつある。



資料：統計伊万里（住民基本台帳）

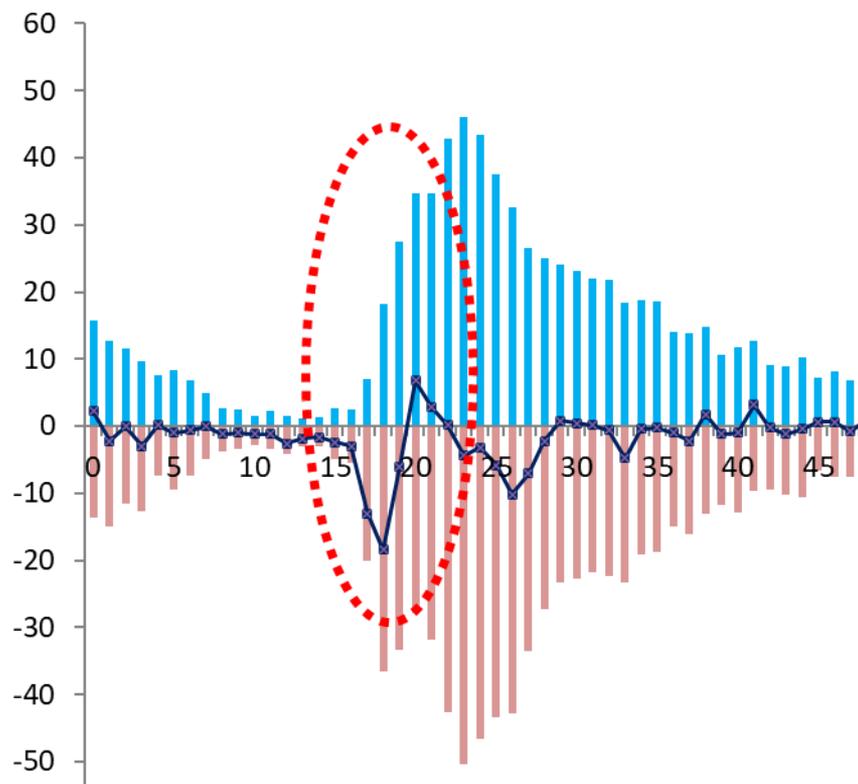
【現状と課題】 社会動態の推移（男女年齢別H29～R3平均値）

- ・18歳前後の転出超過が大きく、進学・就職等に伴う転出がその多くを占めている
- ・男女別では、男性は20歳代前半で転入増に転じている（伊万里市に戻ってくる）が、女性は転出超過が回復していない



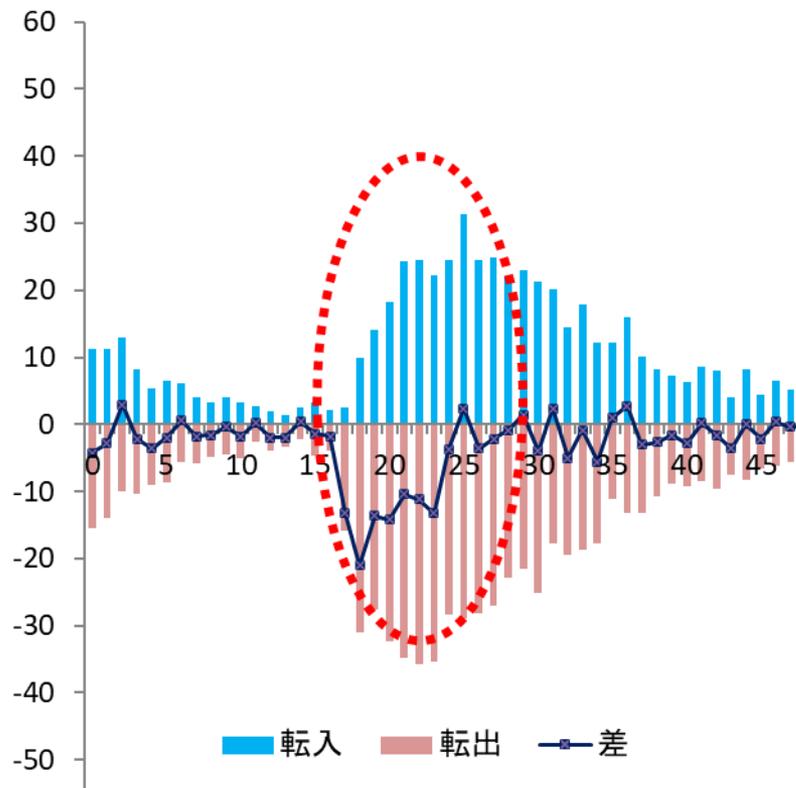
(単位:人)

【男性】



(単位:人)

【女性】

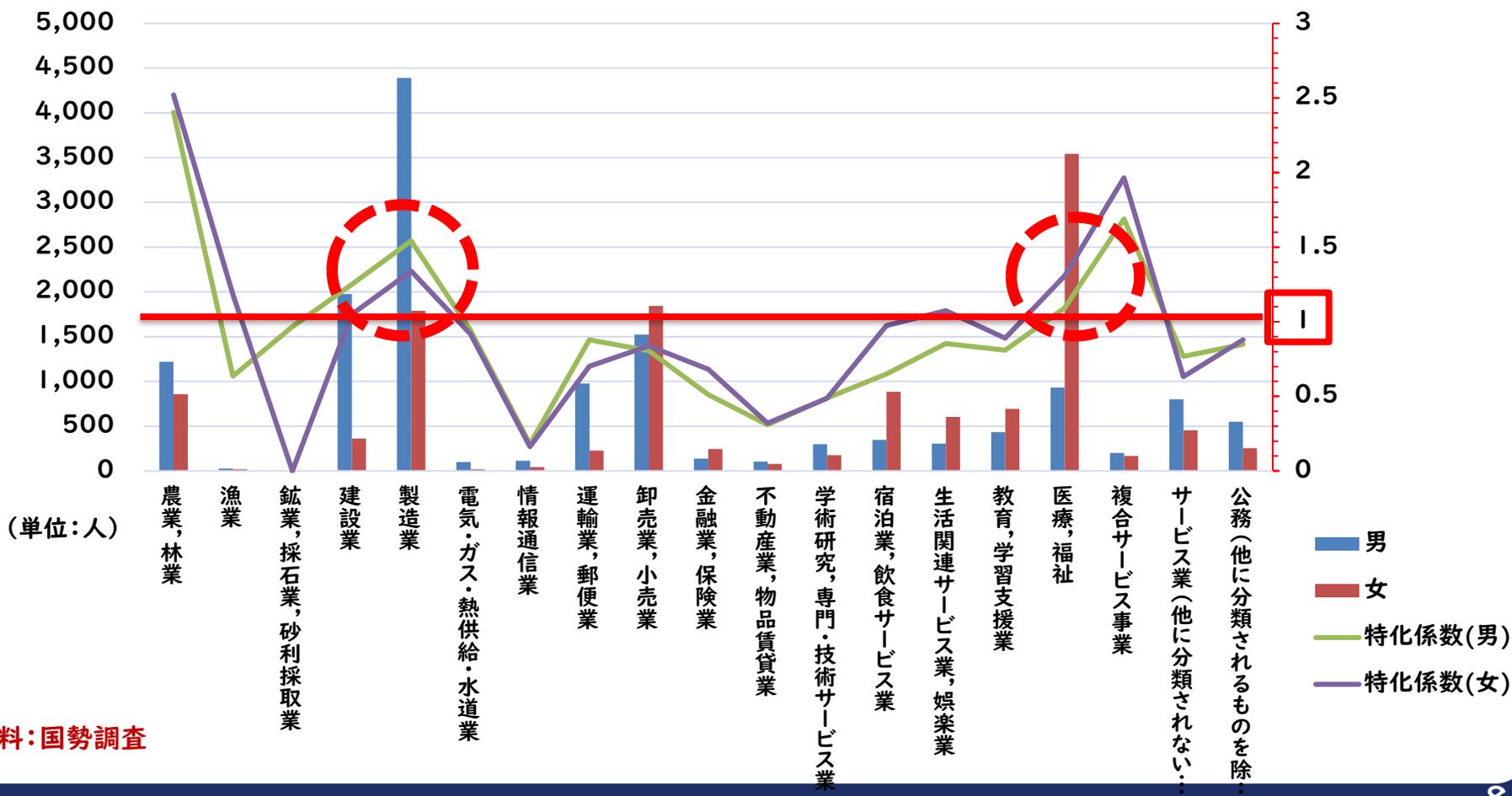


■ 転入 ■ 転出 ■ 差

【現状と課題】 男女別産業大分類別人口



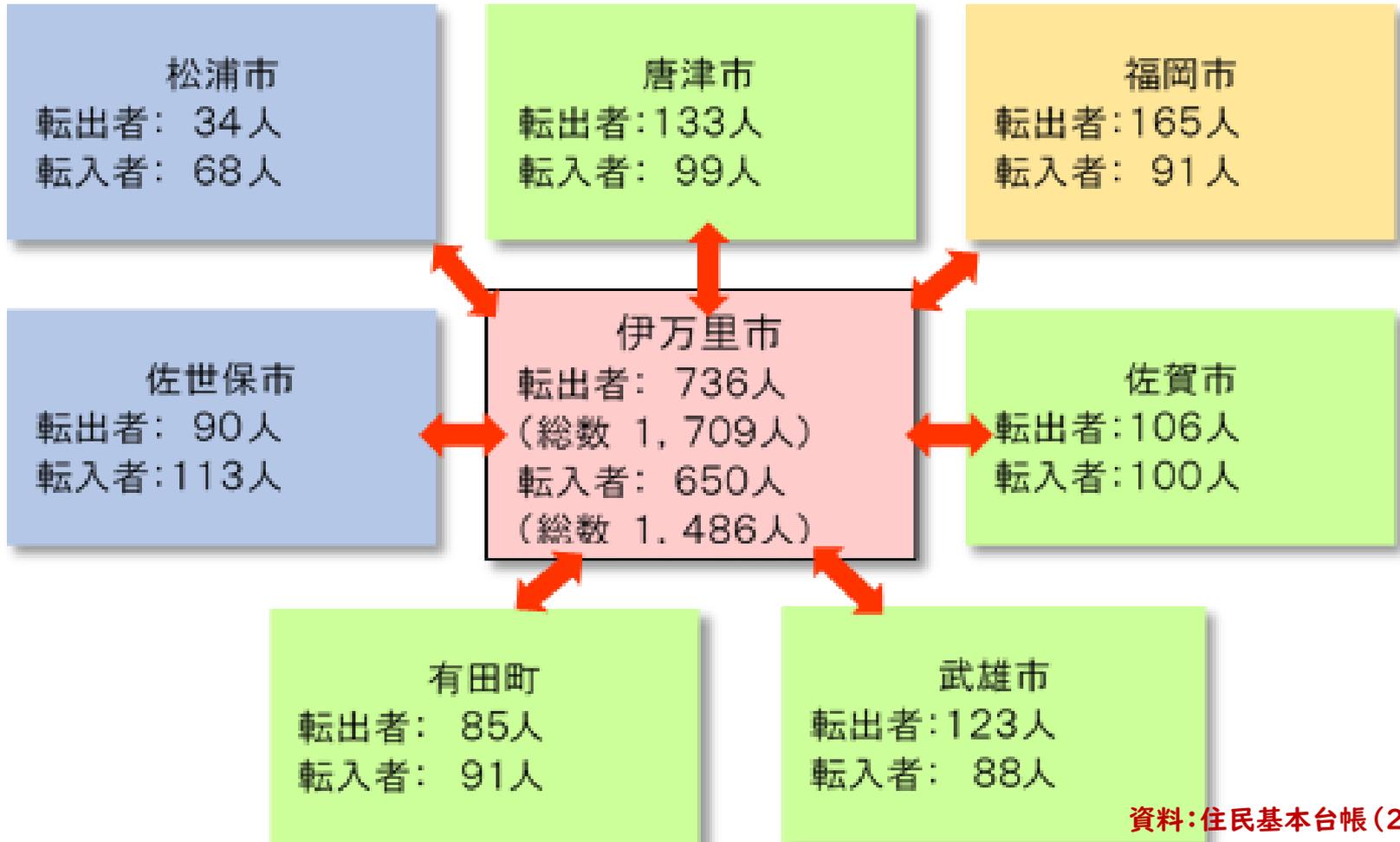
- ・男女の就業先の職種では、男性は製造業、女性は医療・福祉に偏在しており、職業の選択肢が少ないことが若者流出の原因の一つと考えられる
- ・職業の多様性を高め若者や女性の受け皿となるIT企業などの事務系企業等の誘致を推進することが必要となる



資料: 国勢調査

【現状と課題】 社会動態（本市から近隣自治体への人口移動）

・自治体別で転出者が多いのは、福岡市、佐賀市、唐津市、武雄市など、転入者が多いのは、佐世保市、松浦市、有田町となっている

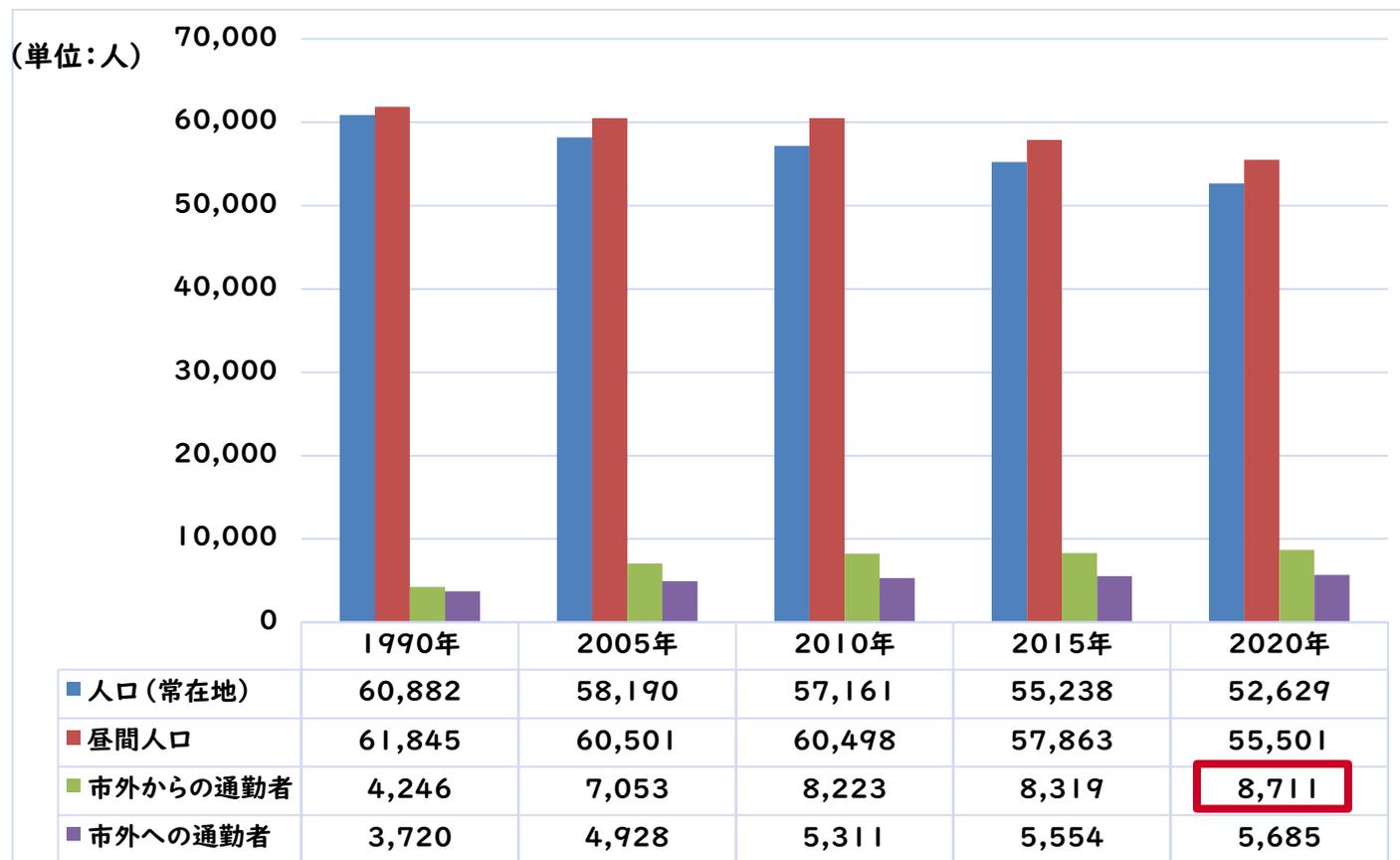


資料：住民基本台帳（2021年）

【現状と課題】 社会動態（昼間人口）の推移



- ・2020年時点で、市外から約9千人が通勤しており、現在ではさらに増加している
- ・昼間と夜間（常住地）の人口では、2020年では昼間人口が約3千人多い
- ・市外からの通勤者は、2020年と比較し、30年間で2.1倍（4,465人）増加しているが、市外への通勤者も30年間で1.5倍（1,965人）増加した



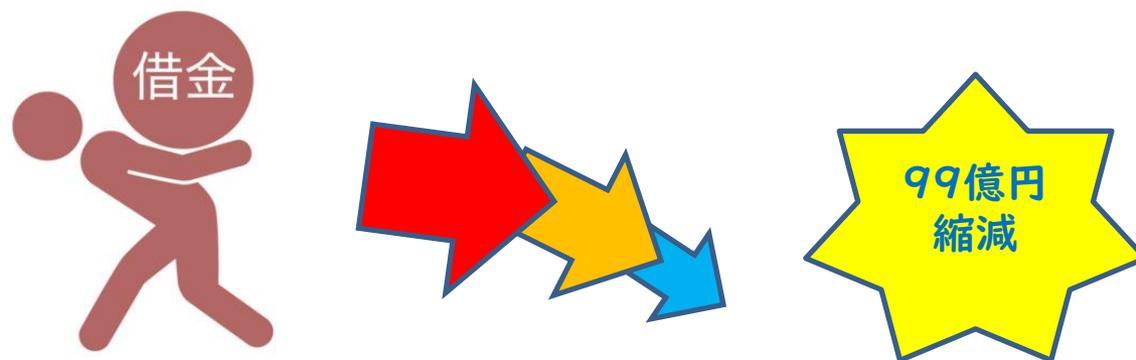
資料: 国勢調査

【現状と課題】 財政の健全化（借金の縮減①）



市債残高を6年間で約99億円縮減（506億円→407億円へ）

No.	区分	平成29年度末	令和5年度末	差引
1	一般会計	218億4,955万円	215億3,485万円	△ 3億1,470万円
2	国民健康保険（特別会計）	2億5,000万円	0万円	△ 2億5,000万円
3	水道事業（企業会計）	55億1,156万円	50億9,408万円	△ 4億1,748万円
4	工業用水道事業（企業会計）	119億 503万円	73億5,323千円	△45億5,180千円
5	下水道事業（農業集落排水事業含）	110億5,382万円	67億 625万円	△43億4,757万円
	合計	505億6,996万円	406億8,841万円	△98億8,155億円



*令和2年度から公共下水道事業と農業集落排水事業を統合し、特別会計から企業会計へ移行

【現状と課題】 財政の健全化（借金の縮減）



・市長就任時点の平成29年度では、県内で最も財政状況が悪かったが、必要な事業を見極め、財政の立て直しを進めた結果、健全化判断比率が年々改善している

○実質公債費比率（早期健全化基準25%）

No.	市町名	平成29年度	順位	令和5年度	順位	差引
1	佐賀市	2.9	1	2.4	3	-0.5
2	唐津市	13.5	18	13.5	20	0.0
3	鳥栖市	6.9	7	0.6	1	-6.3
4	多久市	10.9	14	12.4	19	1.5
5	伊万里市	16.0	20	8.0	8	-8.0
6	武雄市	7.9	10	10.5	17	2.6
7	鹿島市	6.3	6	9.3	12	3.0
8	小城市	4.7	4	9.3	12	4.6
9	嬉野市	8.3	11	8.7	10	0.4
10	神埼市	11.3	16	9.3	12	-2.0
11	吉野ヶ里町	11.2	15	8.9	11	-2.3
12	基山町	10.6	13	6.6	5	-4.0
13	上峰町	13.6	19	7.5	6	-6.1
14	みやき町	11.6	17	10.0	15	-1.6
15	玄海町	3.6	3	1.0	2	-2.6
16	有田町	7.2	8	8.5	9	1.3
17	大町町	5.2	5	7.6	7	2.4
18	江北町	9.3	12	12.1	18	2.8
19	白石町	7.5	9	10.2	16	2.7
20	太良町	3.5	2	6.0	4	2.5
県平均		8.6		8.1		-0.5

平成29年度	令和5年度	差引
-	-	-
109.9	111.1	1.2
-	-	-
-	-	-
91.3	29.5	-61.8
36.7	10.5	-26.2
113.3	101.2	-12.1
-	-	-
69.3	-	-69.3
35.3	37.1	1.8
-	-	-
31.3	-	-31.3
-	-	-
-	15.8	15.8
-	-	-
54.2	-	-54.2
8.5	-	-8.5
-	-	-
15.8	-	-15.8
-	-	-
56.6	50.9	-5.7

○将来負担比率（早期健全化基準350%）

*値が小さいほど財政が健全であることを示す

【現状と課題】 財政の健全化（基金残高）



- ・一般会計の普通預金に当たる財政調整基金や借金の返済に充てる減債基金など、令和5年末で10の基金がある

No.	区分	平成29年度末	令和5年度末
1	財政調整基金	12億 834万円	34億5,664万円
2	減債基金	5億 543万円	7億5,486万円
3	公共施設整備基金	3億1,437万円	12億1,114万円
4	城Ⅱ灌漑揚水維持管理基金	8,891万円	7,430万円
5	国民健康保険基金	2万円	7億3,471万円
6	介護保険基金	3億 598万円	9億2,902万円
7	教育振興奨励基金	654万円	5,980万円
8	まちづくり基金	3億5,206万円	4億9,229万円
9	福祉基金	3億 808万円	4億2,744万円
10	ふるさと応援基金	9億3,350万円	33億5,897万円
11	広域ごみ処理施設建設に係る地域振興基金	4億1,307万円	-
12	その他	1億4,871万円	-
	合計	45億8,501万円	114億9,917万円

差引 **69億1,416万円**

【現状と課題】 財政の健全化（企業会計）



水道事業等3事業は収益的収支の黒字化達成、伊万里有田共立病院は平成29年度以来の赤字

○平成29年度

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的	14億2,776万円	13億8,339万円	4,437万円
	資本的	8億6,117万円	14億1,440万円	△5億5,323万円
工業用水道事業	収益的	9億9,285万円	10億8,763万円	△9,478万円
	資本的	6億4,160万円	8億384万円	△1億6,224万円
下水道事業（農業集落排水事業含）		24億1,674万円	25億7,983万円	△1億6,309万円
伊万里有田共立病院	収益的	38億1,252万円	38億8,603万円	△7,351万円
	資本的	1億3,682万円	2億3,828万円	△1億146万円

○令和5年度

会計区分		収入	支出	差引
水道事業	収益的	14億9,644万円	13億5,867万円	1億3,777万円
	資本的	3億630万円	10億351万円	△6億9,721万円
工業用水道事業	収益的	10億2,311万円	9億4,972万円	7,339万円
	資本的	6億3,345万円	8億5,513万円	△2億2,168万円
下水道事業	収益的	12億8,313万円	12億5,370万円	2,943万円
	資本的	10億1,778万円	13億2,696万円	△3億918万円
伊万里有田共立病院	収益的	38億8,789万円	40億5,130万円	△1億6,341万円
	資本的	5億6,765万円	8億2,557万円	△2億5,792万円

*令和2年度から公共下水道事業と農業集落排水事業を統合し、特別会計から企業会計へ移行
*税込の金額で記載



個人版ふるさと納税とは

ふるさと納税とは、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる制度

概要

- ①税金の控除が受けられる
(寄附上限額は住民税の2割が目安)
- ②伊万里牛・伊万里梨・伊万里焼など
1,000種類以上の豊富な返礼品
- ③寄附金額
 - ・令和3年度 27億 473万円
 - ・令和4年度 29億2,555万円
 - ・令和5年度 23億8,939万円

【伊万里の
特産品】



ガバメントクラウドファンディング

寄附金の使い道に共感した方から寄附を募る

実績

- ・松浦鉄道 老朽化した駅名標などのリニューアル
- ・目標：180万円 ⇒ 【実績】252万円



企業版ふるさと納税の取組を強化します



企業版ふるさと納税とは

企業が地方公共団体の地方創生の取組に対して寄附した場合に法人関係税を税額控除する制度で、寄附額の増加に向け、全庁をあげて取組を強化する

実質的な企業負担は約1割： 例えば100万円を寄附すると、税の軽減効果が90万円で、実質的な企業負担は10万円になる

企業版ふるさと納税の現状

全国の寄附金額では、令和3年度は約226億円、令和4年度は約341億円、令和5年度は約470億円と年々増加している

【伊万里市実績】

令和3年度	1件	50万円
令和4年度	3件	1,130万円
令和5年度	2件	200万円

下記4つの事業を柱として寄附を募ります。

① 新しい体育施設をつくる事業



目標寄附額16億2千万円

② 市街地複合施設をつくる事業



目標寄附額7億100万円

③ カーボン・ニュートラル・ライブラリーをつくる事業



目標寄附額1億2千500万円

④ 海に親しむ公園をつくる事業



目標寄附額6千万円

課題解決に向けた
「いまり STEP UP プロジェクト」



基本理念

時代に柔軟に適応し、 みんなで支え育てるまちづくり

期間：令和元年度～令和8年度

◆ 時代への柔軟な適応 ◆

これまで誰も経験したことのない人口減少の時代を迎え、従来になく柔軟な発想で、前向き、かつしなやかに対応していきます。



◆ みんなで支えみんなで育てる ◆

伊万里市を支える若者世代の人口が減少していくことから、子育て支援や教育等に力を入れ、子どもや子育て世代を地域全体で支え、将来を託す人づくりを進めます。

また、人口減少が進む地域での暮らしの維持には、地域に密着したきめ細かな対応が必要であり、市民どうしの助け合い、市民と行政の協働など、これまで以上に市民みんなで支え育てるまちづくりに取り組みます。



将来都市像

人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち 伊万里

市民ひとりひとりが活躍し、お互いに支え合いながら、住み慣れた地域で、生きがいを持って充実した暮らしを送ることができ、心から幸福だと実感することができるまちを目指します



「いまり STEP UP プロジェクト」を推進し、九州西北部における活力創造拠点へ

S Support

支援

【1】未来を託す子育て応援都市

子どもと子育て世代の安心な暮らしを全力でサポートし、子育て世代が魅力を感じるまちづくりを目指す

T echnology

技術

【2】未来を先取るデジタル都市

デジタル技術等のテクノロジーをまちづくりに活用し、地方都市での不便さを感じることなく誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指す

E conomy

経済

【3】競争に打ち勝つ産業都市

伊万里ブランドなど本市ならではの魅力を効果的に活用して、地場産業を振興し地域経済の活性化を図る

P ort

港

【4】世界に向けた港湾都市

アジア諸国との近接性と平穏で深い水深を持つ、西九州随一の良港である伊万里港の強みをいかす

S DGs

持続可能

【5】SDGs推進都市

移住・定住を促進するための施策の展開や脱炭素社会の構築など、SDGsの推進により、若者が希望を持って暮らすことができる、豊かで活力のある誰一人取り残さない「未来につながる持続可能都市」を目指す

働くまち×
住みたいまち
iMAR!

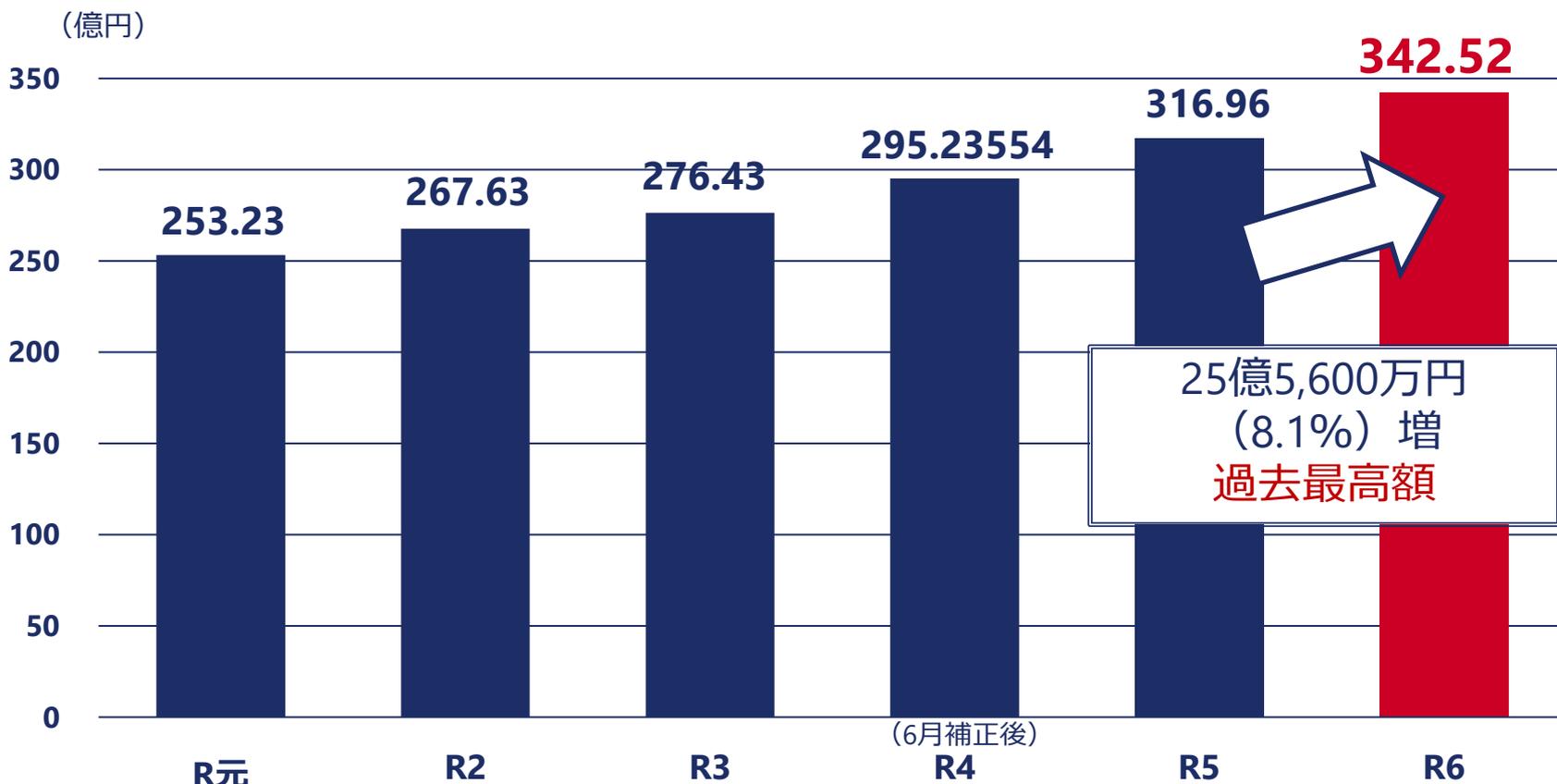
昼間の人口が夜間より多い本市の特色をいかし、人口が減少する中でも、成長を維持する魅力あるまちであり続けるため

活気ある「働くまち」から、
魅力ある「住んで働きたいと感じるまち」
への飛躍を目指す

テーマ

- ① 市政運営の原点である「子どもたちへの強い思い」を押し進めるため、市を挙げた子どもの成長応援に更なる力を注ぐ
- ② これまで取り組んできた財政健全化の成果をいかし、機が熟した今こそ、まちに活気と変化を生み出し、市勢の飛躍につながるプロジェクトに取り組む
- ③ DXの推進、本市の魅力発信や伊万里ブランドの振興、移住・定住の促進や地域支援の強化など、本市の課題解決に向け、更なる施策の拡充を図る

令和6年度当初予算(一般会計) 342億5,200万円



主な増加要因

- 東山代小学校建設関係 +10億5,600万円
- 国スポ全障スポ関係 +3億3,500万円
- 東陵学園建設関係 +2億7,800万円
- 浦分地区浸水対策関係 +2億1,000万円

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進

第6次総合計画後期基本計画（令和5年度～令和8年度）で重点施策に位置付けた5つの都市像の実現に向けた取組を進め、九州西北部における活力創造拠点として持続的な発展を目指す

- ①未来を託す子育て応援都市
- ②未来を先取るデジタル都市
- ③競争に打ち勝つ産業都市
- ④世界に向けた港湾都市
- ⑤SDGs推進都市

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進



① 未来を託す子育て応援都市



② 未来を先取るデジタル都市



③ 「子育て・若者成長応援パッケージ」第2弾として、3つの視点から子育て支援施策を展開する



① 子どもの成長と子育てを「支える」



② 若者が伊万里で子育てしたいと「感じる」

⑤ SD

③ 子育ての場として「選ばれる」

「未来を託す子育て応援都市」の実現に向け、「支える」「感じる」「選ばれる」の3つの視点から子育て支援施策を展開

子どもの成長と子育てを 「支える」

- ✓ 学校給食費の補助
中学3年生等の無償化
値上げ分の半額補助
- ✓ 保育料の改定（低・中所得者の
保育料の引き下げ）
- ✓ 生活環境に課題を抱える
子どものサポートを行う
子ども第3の居場所「きらら」設置
- ✓ こども家庭センター設置
- ✓ 就学前児童の医療費の無償化
（窓口負担なし）
- ✓ アレルギー対応給食提供

若者が子育てしたいと 「感じる」

- ✓ デジタル・シティズンシップ
教育の推進
- ✓ 市内企業見学の実施
- ✓ 学校でのデジタルドリルの
本格運用開始
- ✓ 就学前児童向け
ファミリーコンサート開催
- ✓ カーボン・ニュートラル・
ライブラリーの整備

子育て世代のための
魅力的な施策が
たくさんあるんだよ！



子育ての場として 「選ばれる」

- ✓ 東山代小学校等複合施設の整備
- ✓ 国見台公園総合整備
- ✓ 公園の整備（遊具の更新）
- ✓ 移住奨励金の拡充
- ✓ 大学生と市民・市内事業者との
交流・連携（伊万里まちなかラボ）
による関係人口創出
- ✓ 通学路の安全対策
- ✓ 市民会館跡地の複合施設整備
- ✓ 学校特別教室へのエアコン設置

学校給食費の中学3年生分や値上げ分を補助します



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

学校給食運営委員会支援事業

物価高騰により、学校給食費が2年連続で増額改定される中、進学等に向け、特に経済的負担が大きい中学3年生等の給食費の全額を補助するとともに、令和5・6年度の給食費の値上げ分の半額を補助する

【中学3年生等無償化】予算額

33,035千円 (509人×5,900円×11ヵ月)

【値上げ分補助】予算額

20,620千円

学校給食の様子



学校給食費補助額

	改定後/月	改定増額/月	補助額/月	人数
小学生	5,000円	900円	450円	2,908人
中学1・2年生	5,900円	1,100円	550円	1,029人

保育料を改定します



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

約9割の世帯の保育料を引き下げ

公立保育園の民営化による財政的効果を生きて子育て支援施策に活用し、保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、令和6年度から保育料を改定する

(単位：円)

階層	市町村民税所得割額	標準時間保育料（月額）		
		現行	改定後	現行との差額
1	生活保護世帯	0	0	0
2	市町村民税非課税	0	0	0
3	48,600円未満	19,000	13,600	▲ 5,400
4	48,600円以上 97,000円未満	27,000	21,000	▲ 6,000
5	97,000円以上 169,000円未満	41,000	31,100	▲ 9,900
6	169,000円以上 301,000円未満	54,000	42,700	▲ 11,300
7	301,000円以上 397,000円未満	54,000	56,000	2,000
8	397,000円以上	54,000	72,800	18,800

積算基準

従来の本市の保育料が、国の基準に対し階層毎の負担に差があったため、全階層の保育料を国の基準額の70%の額に設定

※県内10市でトップレベルに安い水準となる

第8階層は、急激な保護者負担の増加を避けるため、経過措置を設ける

【第8階層経過措置】

令和6年度：60,200円

令和7年度：66,500円

令和8年度から改定後額

子ども第三の居場所「きらら」を設置します



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

子ども第三の居場所きらら管理運営事業

生活環境に課題を抱える子どもの、将来の自立に向けた力を育成するため、学習や生活のサポートを行う、家でも学校でもない「子ども第三の居場所きらら」を設置する

事業内容

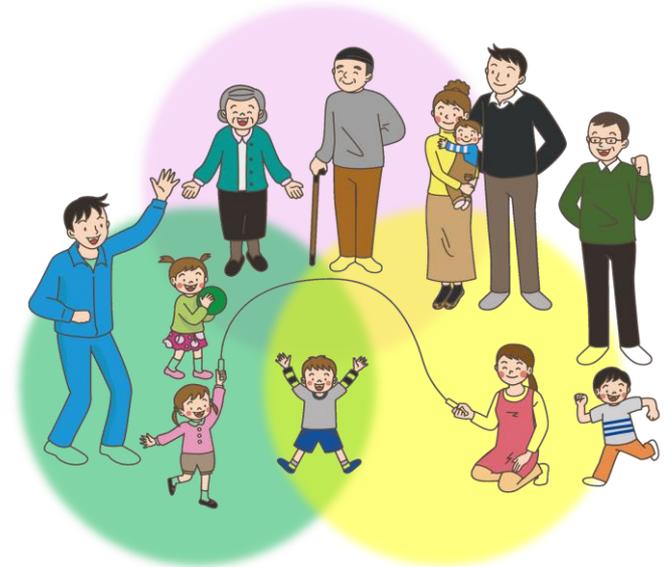
- ・安全・安心な居場所の提供
- ・生活習慣形成の支援
- ・学習、遊びの支援
- ・進路の相談支援

開設予定

令和7年2月から

予算額

52,400千円



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

支える

子どもの医療費助成事業

就学前児童の医療費について、令和5年度に県内の市では初めて、後日の申請手続きによる実質無料とし、令和6年度から窓口負担なしとした
このほか、小中学生の医療費や高校生世代の入院費を一部助成している

事業内容

- ・就学前児童
入院、通院、調剤のすべて窓口負担なし（現物給付）
- ・小中学生等
入院、通院は1ヵ月1医療機関1,000円、調剤は負担なし（現物給付）
- ・高校生世代（中学校卒業後から18歳年度末まで）
入院のみ1ヵ月1医療機関1,000円（償還払い、後日手続き必要）



予算額

275,359千円

デジタル教育とものづくりのまち伊万里への関心を高めます



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

デジタルシティズンシップ教育推進事業

市内のIT企業と連携し、中学生のデジタルへの興味、関心を高めるため、各中学校等で、プログラムでドローンやロボットが動く体験等を展開する

対象

中学校・義務教育学校

予算額

2,489千円



開催時期 令和6年8月～令和7年2月 左記期間内で全7回を予定



第1回 20代以上対象

チャットGPT、AIの仕組みと
ビジネス実践塾
2024.8.2(金) 18:30～

第2回 全世代対象

デジタルナビゲーション塾
(デジタル全般の相談室)
2024.8.16(金) 18:30～

第3回 60歳以上対象

スマートフォンを活用した
デジタルシニア養成塾
2024.9.12(木) 13:00～

第4回 20代～40代対象

在宅勤務のための
コミュニケーション塾
2024.10.26(土) 13:00～

第5回 親子対象【小学生以下】

デジタルツールを活用した
アート&インターネット安全教室
2024.12.7(土) 13:00～

第6回 中学生対象

プログラミング塾
～応用編①～
2025.1.16(木) 18:30～

第7回 中学生対象

プログラミング塾
～応用編②～
2025.2.20(木) 18:30～



IMARIデジタル塾開催事業

本市ビジネス支援オフィス「バンリビル」で、多世代を対象に、市内進出IT企業と連携し、プログラミングやAI等のデジタル技術を使い、伊万里市独自の学びや交流を楽しめる塾を開催する

対象

子ども、子育て世代、高齢者等の多世代

予算額

1,958千円

就学前児童向けファミリーコンサートを開催します



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

感じる

MIRAI世代応援事業

市内に住む就学前児童を対象に、子ども向け音楽・体操ユニットのケロポンズによるファミリーコンサートを開催

事業概要

- ・令和6年11月24日(日) 伊万里市民センター
- ・入場無料で、午前と午後の2回公演
- ・はたらくのりものやエア遊具、キッチンカー出店
- ・2回公演と屋外イベントで、2,000人が来場



小中学校にエアコンを設置します

① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

子どもたちのより良い学習環境を整備するため、市長就任以来市内小中学校の普通教室のエアコン設置に早急に着手し、今年度は特別教室のエアコンについても順次設置を行っています。

○普通教室

- ◆中学校 令和元年5月設置完了 72教室
- ◆小学校 令和元年8月設置完了 163教室
- ◆総事業費 約4億3,100万円

○特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、多目的室等）

- ◆中学校 令和6年12月設置完了 34教室
- ◆小学校 令和6年12月設置完了 39教室
- ◆総事業費 約3億2,300万円



複合施設による地域の子育て力の向上を図ります



① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業

耐震基準を満たしていない東山代小学校と併設する留守家庭児童クラブ、コミュニティセンターを県内初の複合施設として整備する

スケジュール

- | | | | |
|----------|------|---------|------|
| ・令和3年度 | 基本設計 | ・令和7年4月 | 開校予定 |
| ・令和4年度 | 実施設計 | ・令和7年度 | 外構工事 |
| ・令和5・6年度 | 建設工事 | | |

概要

- ・総事業費
29億8千万円
- ・構造
鉄筋3階建て
- ・延床面積
5,950㎡



伊万里中学校の改築工事が完了しました

① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

伊万里中学校改築事業

校舎の耐震化を図るため、令和元年度から改築工事に着手し、令和6年3月21日に落成式を行った

工事期間

- ・工事着工 令和元年 9月
- ・南校舎完成 令和2年12月
- ・北校舎完成 令和4年 5月
- ・屋内運動場改修 令和4年10月
- ・剣道場・外構等完成 令和6年3月

工事概要

- ・総事業費 27億6千万円
- ・構造 鉄筋コンクリート造 4階建て
- ・延床面積 6,797㎡(校舎)



ファミリーパークにインクルーシブ遊具を設置しました

① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

都市公園管理事業

令和4・5年度は、ファミリーパークにインクルーシブ遊具、国見台公園や森永公園等に複合遊具を整備し、令和6年3月20日にオープニングセレモニーを開催した

令和6年度は楠久津公園の老朽化した複合遊具を更新する

事業費(遊具整備)

令和4年度	36,300千円
令和5年度	39,747千円
令和6年度	11,000千円(予算)



【ファミリーパークインクルーシブ遊具】



【国見台公園複合遊具】

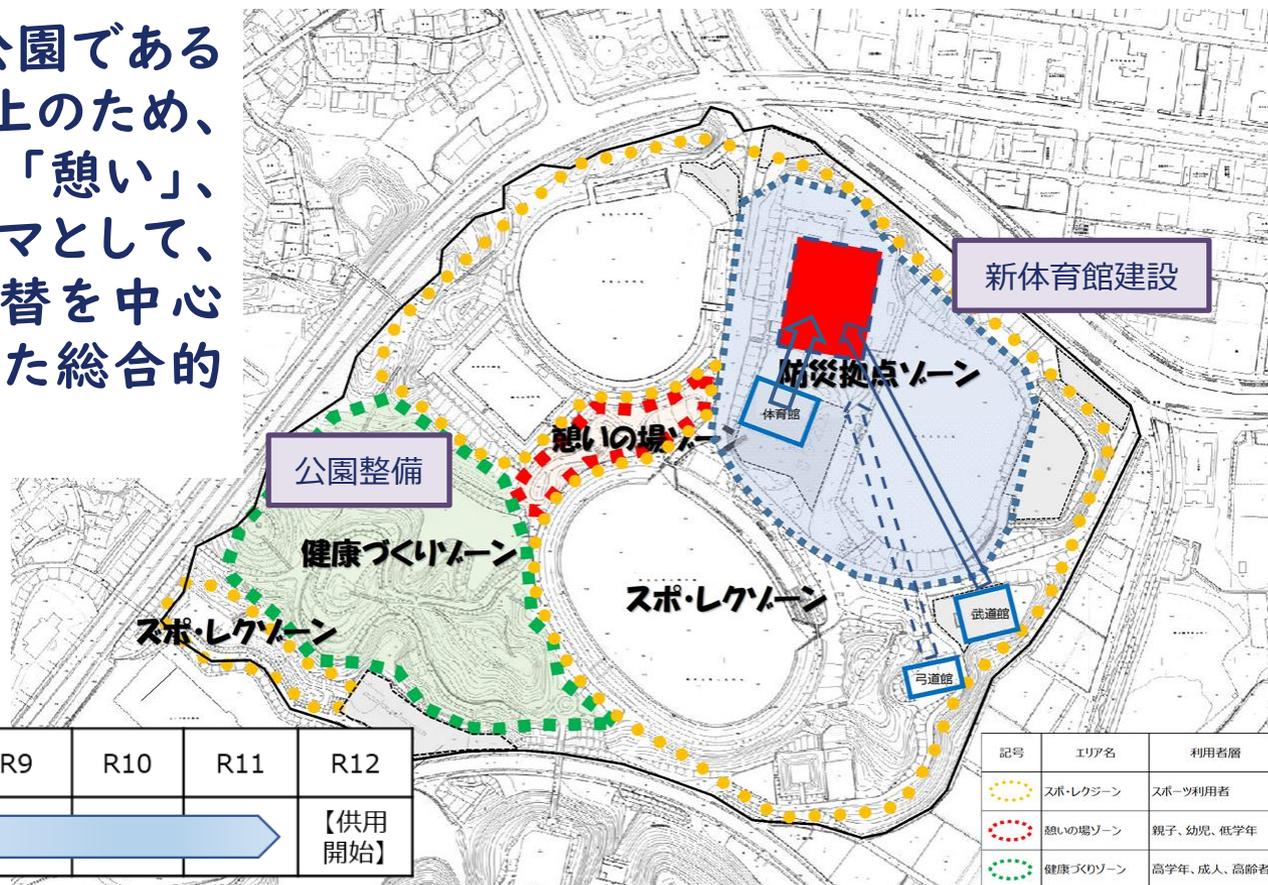
① 未来を託す子育て応援都市

子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

国見台公園総合整備事業

市内中央部の基幹公園である国見台公園の魅力向上のため、「スポーツ」、「健康」、「憩い」、「防災」の4つをテーマとして、体育館・武道館の建替を中心に、公園エリアを含めた総合的な整備を検討する。



施設名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
国見台公園	▶						【供用開始】

記号	エリア名	利用者層
●●●●	スポ・レクゾーン	スポーツ利用者
●●●●	憩いの場ゾーン	親子、幼児、低学年
●●●●	健康づくりゾーン	高学年、成人、高齢者

市民会館跡地の利活用を検討します



① 未来を託す子育て応援都市

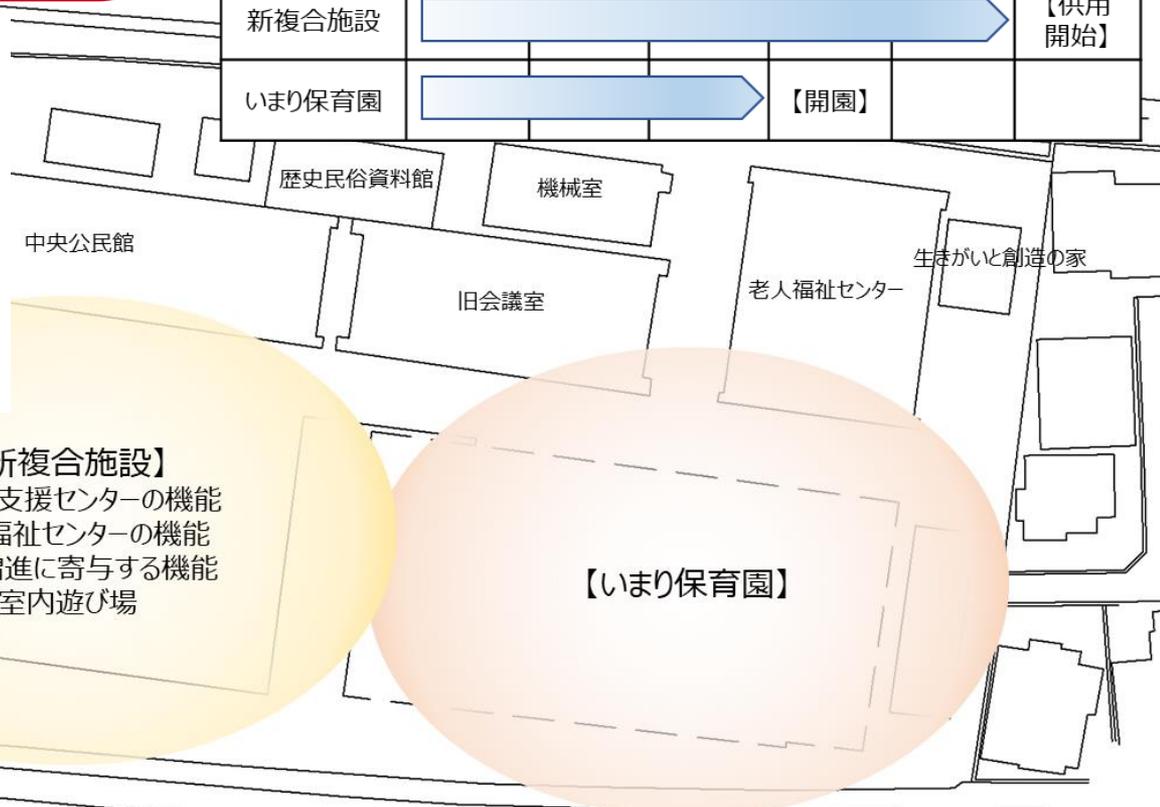
子育て・若者成長応援パッケージ

選ばれる

ファシリティマネジメント推進事業 (市民会館跡地利活用基本構想)

中央公民館等既存施設の老朽化を踏まえた利活用を図るため、市民センター等周辺施設を含む新たな複合施設の機能や配置など、跡地利用を検討する。

施設名	R6	R7	R8	R9	R10	R11
新複合施設	→					【供用開始】
いまり保育園	→			【開園】		



【新複合施設】

子育て支援センターの機能
老人福祉センターの機能
健康増進に寄与する機能
室内遊び場

【いまり保育園】

基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進

①未来を託す子育て応援都市

②未来を先取るデジタル都市 (Technology)

③競争に打ち勝つ産業都市

デジタル技術を地域課題解決の鍵として、誰もが便利で快適に暮らせる持続可能な社会の実現を目指す

①産業DX ②行政DX ③地域DX ④教育DX

庁舎1階窓口フロアをリニューアルします

働くまち×
住みたいまち
iMAR!



② 未来を先取るデジタル都市

デジタル技術を地域課題解決のカギに

行政組織機構改革事業

令和6年3月に導入したスマート窓口の本格運用に合わせ、現在、案内サインや張り紙等が混在し、目的の窓口がどこにあるかわかりやすくするため、来庁者に配慮した案内サイン等を一体的に整備しました

予算額

51,696千円



基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進

①未来を託す子育て応援都市

②未来を先取るデジタル都市

③競争に打ち勝つ産業都市

(Economy・エコノミー)

伊万里ブランドの振興や福岡都市圏向けの観光戦略の拡充など、九州西北部の活力創造拠点としての更なる活性化を図る

①農業の振興 ②観光の振興 ③商工業の振興

農業に関する予算を増額しています



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

当初予算額の比較【農業費（農業振興課所管分）】

農業振興課所管の農業費は、令和6年度当初予算額は令和5年度と比べ、約1億1千万円、約29%と大幅に増額している

目名	R6当初予算額	R5当初予算額	増減額	増減 (%)
農業振興費	230,434	223,331	7,103	103.18
園芸振興費	206,869	134,894	71,975	153.36
畜産業費	54,542	23,742	30,800	229.73
合計	491,845	381,967	109,878	128.77

③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

園芸農業機械・施設等整備支援事業

収益性の高い園芸農業の確立を図るため、国・県の補助を活用し、収量・品質の向上や経営規模の拡大、低コスト化等に必要な機械や施設の整備に要する経費を補助する

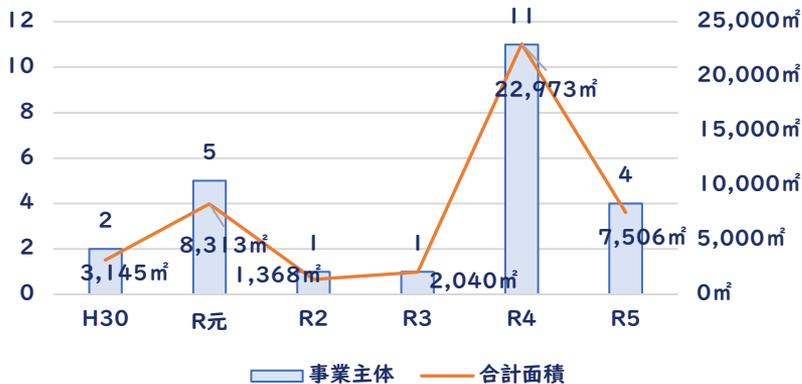
予算額

198,292千円



施設園芸用ハウス（補助事業建設分）

○整備実績



○栽培品目別
事業主体数
(H30～R5計)

- ・きゅうり 15件
- ・いちご 3件
- ・アスパラガス 5件
- ・花き 1件

きゅうりの大規模栽培（低コスト耐候性ハウス）



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

新規就農者支援事業 青年農業者スキルアップ給付金

新規就農者への支援として、研修期間中や就農直後の経済的負担軽減を図る補助事業等に加えて、意欲ある青年農業者の就農後の営農技術面や経営面での早期育成を支援するため、給付金制度を創設する

事業内容

- ・対象者：49歳以下の認定農業者等
- ・交付額：20万円/年
(スマート農業課題研究の場合10万円加算)
- ・期間：最長3年間
- ・要件：4Hクラブ等に参加し営農面や経営面等の課題に対する研究・発表を行う

予算額

2,200千円



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

伊万里牛産地強化支援事業

肥育農家数、飼養頭数の減少が続く伊万里牛産地を維持・強化するため、一貫経営取組への移行を支援するほか、補助率等を拡充する



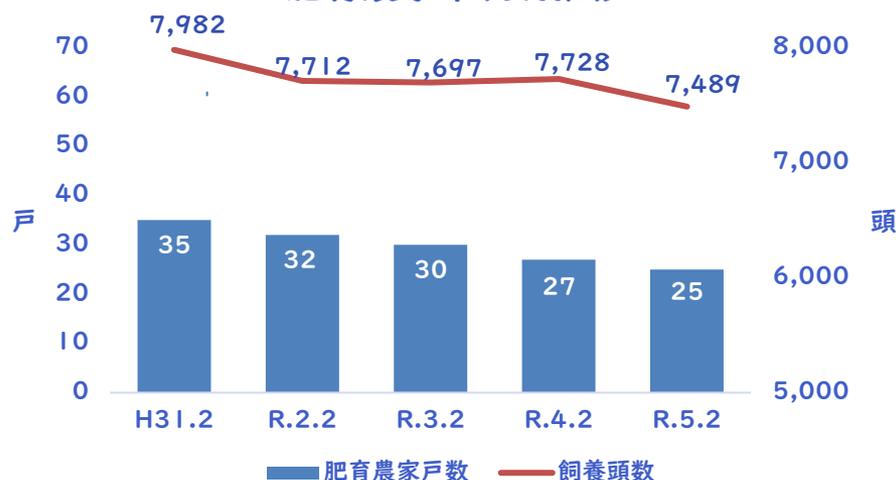
事業内容

- ①サポートセンター利用補助 (拡充)
- ②新たに一貫経営に取り組む肥育農家の雌牛導入についての支援 (新規)
- ③空き牛舎改修補助、牛舎施設等改修補助 (拡充)
- ④増頭補助 (拡充)
- ⑤雇用費補助 (拡充)

予算額

31,603千円

肥育農家年次別推移



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

伊万里牛出荷奨励事業

伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と、伊万里産子牛の安定供給を図るため、出荷した頭数や成績に応じた奨励金を交付する

事業内容

①肥育牛の出荷支援

- ・奨励金 2千円/頭 (A5の場合3千円加算)
- ・対象見込頭数 7,489頭

②子牛の出荷支援

- ・奨励金 2千円/頭
(県平均セリ価格を上回る場合3千円加算)
- ・対象見込頭数 270頭

予算額

19,781千円



販売頭数年次別推移



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

伊万里駅周辺活性化プロジェクト

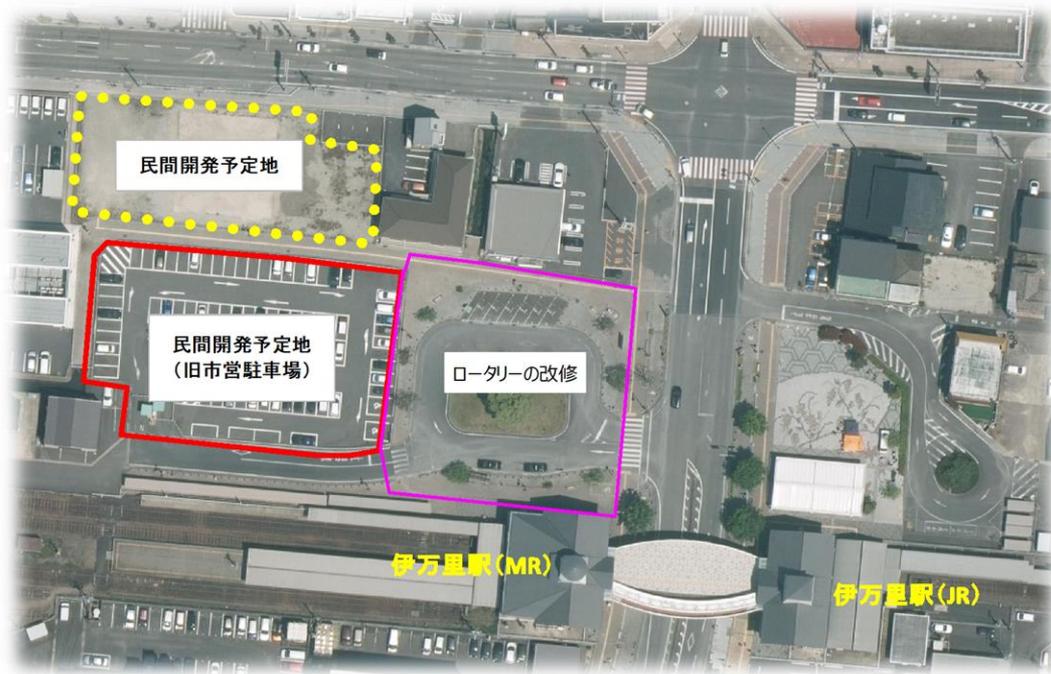
伊万里駅周辺に賑わいを創出するため、これまで駐車場としての利用に留まっていた市営駅前駐車場用地を活用し、民間提案による新たな事業を実施するあわせて、駅前駐車場の廃止に伴い、駅前東駐車場に時間駐車を導入する

市営駐車場管理運営事業予算

32,607千円

事業主体・概要

- 事業者:株式会社アイ・エス
- 開業時期:令和7年予定
- 建物概要:ホテル
(地上10階建て、客室数125室)
カフェや温浴施設のほか、市民が自由に利用できる公共スペースや情報発信ブースの設置が計画されている



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

伊万里・有田焼伝統工芸品産業振興事業

令和7年に迎える鍋島藩窯伊万里開窯350周年に向け、鍋島焼の持続的な振興につながる産地ブランディング戦略の策定等を支援する



事業概要

産地トータルディレクターを招聘し、産地のコンセプトやビジョンの設計、統一ロゴマークの制作などの戦略策定等に要する経費を補助

事業主体

伊万里鍋島焼協同組合

予算額

7,608千円



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業

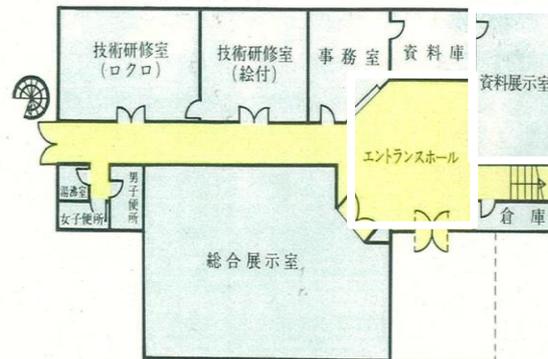
鍋島の歴史・価値等の情報を発信する機能を強化し、市内外に向けて本市の伝統産業の振興を図るため、大川内山の玄関口である伊万里・有田焼伝統産業会館を改修する

改修箇所

- ・エントランスホール
- ・資料展示室

予算額

24,725千円



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

道の駅伊万里再生支援事業

道の駅伊万里「伊万里ふるさと村」の再生に向け、施設のリニューアルに取り組む伊万里市農業協同組合を支援する

リニューアルの概要

リニューアルコンセプト

【地域に親しまれ 伊万里の魅力を発信する道の駅】

- ① 子どもの遊び場等の整備による地域住民等の交流の場の創出
- ② 店舗デザイン、品揃えの見直しによる地域住民の日用品（生鮮三品等）調達環境の改善
- ③ 新規商品開発による関係人口の創出 など

予算額

道の駅伊万里再整備支援事業費補助金
20,000千円（補助率 1/2以内）



小森陽一氏との連携企画「陽心塾」を開催しました

働くまち×
住みたいまち
iMAR!



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

シティプロモーション推進事業

伊万里市制施行70周年を記念し、本市出身の人気作家「小森陽一」氏の世界観に触れながら、子どもから大人まで、豊かな心を育む特別な塾を開講し、郷土愛を醸成するとともに、本市の魅力を市内外に発信する

事業内容

- ①これからのモノづくりを担う学生等との大川内山体感企画（小森氏のモノづくり講義ほか）
- ②映画や特撮の世界観を伊万里で体感する小森氏ワールド全開企画（動画上映会、ガレージキット展示）
- ③小森氏が特にフィーチャーしてきた海上保安庁との郷土愛醸成企画（伊万里湾体験航海 ＊荒天で中止）

予算額

4,150千円



福岡都市圏向けの観光戦略を拡充します①



③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

観光PR事業

福岡都市圏等からの更なる誘客を図るため、旅行会社等への営業活動を行うほか、「伊万里フェア」をはじめとしたイベントを開催するとともに、様々なメディアを活用し、情報を発信する

事業内容

- ・伊万里フェアの開催
- ・インフルエンサーを活用した情報発信
- ・福岡ジャックプロモーションの実施
- ・福岡都市圏における広告掲出等
- ・観光パンフレット等の印刷

予算額

21,162千円



【シティプロモーション
公認サポーター
石本 愛氏】



福岡空港出発カウンター前

③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

観光振興団体支援事業（伊万里市物産観光振興協議会補助金）

交流人口拡大の新たなターゲットとして設定している「福岡都市圏の30代を中心とする女性」に直接PRできるイベントに参加し、本市への誘客を図る

また、モニターツアーを実施し本市観光資源の現状について、感想や評価など生の声を集約し、今後の観光戦略材料として活用する

事業内容

- ・女子旅EXPOブース出展
- ・モニターツアーの実施

予算額

1,860千円



R4参加の女子旅EXPOの様子

③競争に打ち勝つ産業都市

九州西北部の活力創造拠点を目指して

西九州自動車道

福岡市を起点に唐津、伊万里、松浦、佐世保を經由し武雄に至る全体延長140kmの一般国道の自動車専用道路
事業主体は国土交通省

伊万里道路

- ・区間 伊万里東府招IC～(仮称)伊万里中IC～(仮称)伊万里西ICまでの6.6km
- ・工期 平成7年度～完了時期未定
- ・進捗率 用地取得99% 事業57%、
- ・予算 令和6年度(国)1,136,000千円

伊万里道路脇田地区付近の進捗状況



↑松浦市

唐津市↓



基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進

① 西九州随一の良港である伊万里港の強みをいかし、国際物流拠点としての地位の向上を図る

① 伊万里港の長期構想策定の促進

② 港湾機能の強化

③ 港への市民意識の向上

④ 世界に向けた港湾都市 (Port・港)

⑤ SDGs推進都市

④世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流
拠点としての地位の向上

伊万里湾開発総務事業

浦ノ崎地区の開発に向け、洋上風力発電の関連産業やフェリー・RO-RO船の誘致に向けた調査研究を進めるなど、佐賀県との連携により、伊万里港の将来の開発を見据えた長期構想の策定を促進する

事業概要

- ・佐賀県と連携した長期構想の策定促進
- ・伊万里ウインドパワープロジェクト協議会の設立

予算額

1,703千円



伊万里ウィンドパワープロジェクトが発足しました



④世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

伊万里ウィンドパワープロジェクト協議会の発足

広大かつ大水深という好条件の浦ノ崎地区廃棄物処理用地への洋上風力発電の関連産業の誘致により、市内での雇用機会の拡大や地域経済の活性化を図るため、行政と民間が一体となって協議会を発足した

事業概要

- ・洋上風力発電関連産業及び必要となる港湾施設に関する調査研究と関連企業の誘致
- ・地元企業の洋上風力発電関連産業への参入促進
- ・洋上風力発電関連産業に関するセミナー等の開催
- ・関係行政機関へのインフラ整備等の要望活動

設立日・会員数

- ・令和6年5月28日設立
- ・会員数40法人(R6.7.31現在)

【浦ノ崎地区廃棄物処理用地】



④世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流
拠点としての地位の向上

伊万里港ポートセールス推進事業

コンテナ貨物取扱量の増加を図るため、新たに伊万里港をトリアル利用する荷主等への助成など佐賀県伊万里港振興会の取組を支援する

伊万里港概要

- ・アジアに開かれた重要港湾「伊万里港」
- ・釜山や大連、上海など4航路・週8便の定期航路が就航（九州第4位のコンテナ取扱量）

予算額

21,256千円

【七ツ島地区 国際コンテナターミナル】

事業概要（コンテナ助成）

- ・東南アジアや台湾に輸出入（新規・拡大）する荷主
- ・伊万里港を新規でトリアル利用する荷主
- ・伊万里港を新規で利用する物流事業者



海に親しむ公園の整備を進めます



④世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流拠点としての地位の向上

都市公園管理事業

伊万里ファミリーパークにおいて、民間のノウハウや資金による未利用地の整備を進め、近接する海浜公園を含む海に親しむ公園としての魅力向上に取り組む

公園概要

- ・公園面積 27.6ha (開園面積11.4ha)
- ・年間来園者 約6万人 (無料公園)

事業概要

未利用地エリアの整備検討に向けたアクセス道路の基本設計

予算額

3,729千円



④世界に向けた港湾都市

伊万里港の強みをいかした国際物流
拠点としての地位の向上

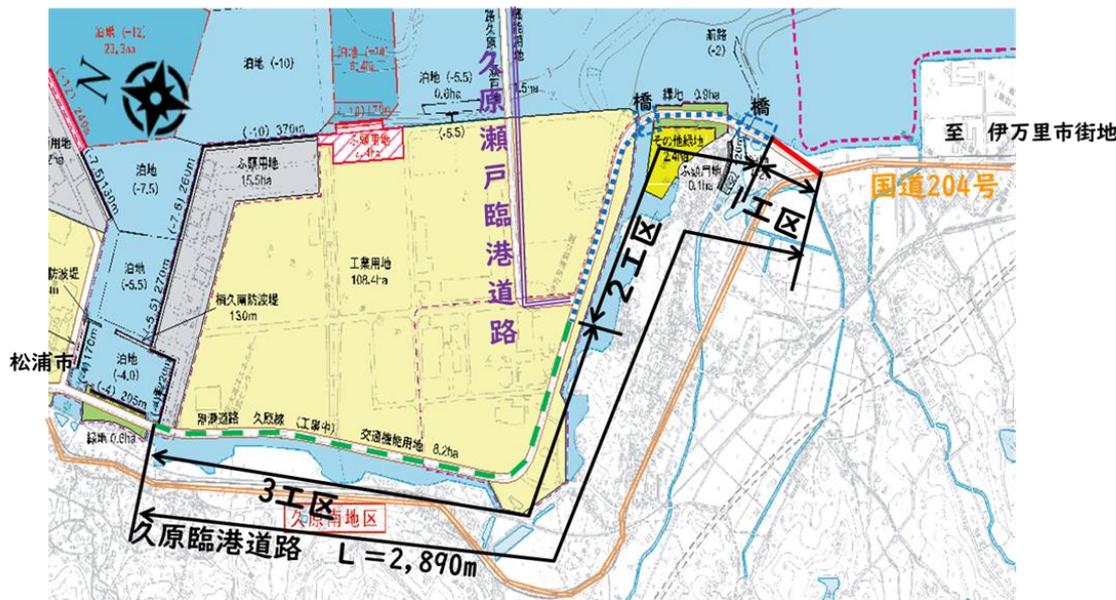
臨港道路久原線の4車線化（佐賀県による整備）

○区間：楠久津交差点 ～ 久原原橋 ○延長：2,890m

○期間：令和5年～未定（予算状況や設計内容により変動）

○概要：

現在、暫定2車線で供用している久原線は、伊万里団地内の企業の工場増設に伴う物流・人流の更なる増加により、通勤時間帯の慢性的な渋滞が悪化する懸念があることから、4車線化の整備を進める



基本方針

「いまり STEP UP プロジェクト」2024年版の推進

伊万里市版SDGsを推進し、住み慣れた地域で今後も暮らし続けることができる、持続可能な伊万里市づくりに取り組む

- ① 市民への啓発
- ② 脱炭素社会の構築
- ③ 移住・定住施策の強化
- ④ 伊万里市版SDGsの推進

⑤ SDGs推進都市

移住・定住を促進し人口減少に歯止めをかけます



⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

移住・定住促進事業

本市への更なる移住・定住の促進を図るため、奨励金制度を活用した取組を積極的に展開するほか、移住体験ツアーの実施など情報発信等を行う。

事業内容

- ・ 移住奨励金等の交付
いまり暮らしスタート支援金・移住促進奨励金等
- ・ 移住体験ツアーの開催
- ・ 移住に関する情報発信の強化 など

支援金額

【いまり暮らしスタート支援金の場合】

- ・ 対象 市外在住で転入時59歳以下（各要件あり）
- ・ 支援金 世帯：最大100万円、単身：最大60万円
*子育て加算（30万円/1人、18歳未満）
地域指定加算（20万円）

移住支援金
世帯 100万円 単身 60万円
18歳未満の子ども1人につき100万円を加算

いまり暮らしスタート支援金
世帯 最大100万円 単身 最大60万円
(佐賀県外100万円) (佐賀県外60万円)
(佐賀県内 25万円) (佐賀県内 15万円)

●支給対象者
東京23区内在住または東京圏（※）から東京23区内へ通勤していた人などで各要件を満たした人

●支給対象者
伊万里市外在住で転入時59歳以下の人などで各要件を満たした人

移住促進奨励金
転入奨励金 30万円 子育て加算 30万円（※） 地域指定加算 20万円
*18歳未満の子ども1人につき30万円を加算

●支給対象者 令和6年度から各種加算を増額中です!!
転入時49歳以下の人などで各要件を満たした人

●内容
新築住宅の購入や空き家の購入及び改修に対する一部補助

⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

実家に帰ろう 住宅改修等補助金

実家が市内にある市外在住者（本市へ転入後5年未満の者を含む）が当該実家にUターン等する場合に、実家の改修工事または解体・新築工事に係る費用の一部を補助（要事前申請）

要件

69歳以下で、直近10年のうち市外5年以上在住等

補助金額

- ・改修の場合
改修工事費の1/2（上限額50万円）
- ・解体新築の場合
解体工事費の1/2（上限額100万円）
と新築補助金（上限30万円）

※その他、子育て加算（30万円/1人）と地域指定加算（20万円）有り

伊万里市への
Uターン を考えている方へ!

いまりの実家への
Uターンを支援します
たどえは 家族（4人世帯）で
いまり暮らしスタート支援金と合わせると
310万円 **最大**
支給します!

69歳以下で
要件を満たした人
が対象です

令和6年度から
補助金増額中です!!

おかげで

実家の解体・新築、
改修費用に対して
一部補助します

伊万里市実家に帰ろう住宅改修等支援事業

伊万里市役所 都市政策課 住宅・空家対策係
〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1
☎ 0955-23-2464 ✉ juutaku@city.imari.lg.jp

詳しい条件などは
伊万里市
ホームページを
ご確認ください。

⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

移動販売事業者支援事業

買い物が困難な市内地域における買い物手段を確保するため、移動販売事業者に、移動販売車の維持経費の一部を補助することで、住み慣れた地域で今後も暮らし続けるために不可欠な生活サービスの確保を図る

補助対象経費

燃料費、車検費等

予算額

- ・移動販売車支援事業費補助金 500千円
(250千円×2事業者)
- ・補助率 1/3以内(上限250千円)



民間人材や若者による新たな視点での賑わいづくりを進めます

⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

みんなの地域創造拠点形成事業

総務省の「地域活性化起業人制度」を活用し、「伊万里まちなかラボ」構想として、大学生等が市内でフィールドワークや地域資源を活用した新商品の開発等の取組を通して、関係人口創出を目指す

令和5年度実施事業

- ・伊万里メンチ開発
- ・梅や梨のクラフトビール開発
- ・大川内山や秋祭りへの出店



令和6年度実施事業

- ・長崎県立大学とJA伊万里が研究契約締結し、メンチカツ開発
- ・大学向けフィールドワーク・イベント実施推進補助金を創設

【JA伊万里との連携】



予算額

6,919千円



【伊万里秋祭り梨ビール】

散弾銃射撃場の汚染土壌を撤去・処分しました



⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

散弾銃射撃場環境対策事業

散弾銃射撃場内の高濃度汚染土壌のうち、特に高い値が検出された4,000㎡のエリアの汚染土壌(約500㎥、632トン)を撤去し、伊万里港から秋田県の最終処分場へ船舶で輸送

【着工前の状況】



工事内容

- ・汚染土壌撤去、運搬、処分
- ・法面種子吹付

工事請負費

令和5年9月5日～令和6年5月31日

工事請負費

112,094,400円

【着工前 (R5.10)】



【土壌撤去後 (R6.3)】



【完了 (R6.5)】



⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

高齢者はつらつ事業

令和4年度に、高齢者が交流やレクリエーションをとおして、コミュニティセンターを憩いの場とする「高齢者はつらつ事業」を各地区で実施

【ニュースポーツ用具 (ワナゲ)】



伊
万
里

【フィットネス器具 (マルチジム)】



牧
島

【蕎麦作りセット】



大
坪

立
花



【カラオケシステム】

大
川
内



【フィットネス器具 (リカンベントバイク)】

黒
川



【百歳体操用モニター】

⑤SDGs推進都市

伊万里市版SDGsの推進

【テレビ、佐賀にわかDVD】



波多津

【百歳体操用モニター】



南波多

【映画上映用プロジェクター、DVD】



大川



松浦

【ニュースポーツ用具(モルック)】

二里

【麻雀セット】



東山代

【ボッチャセット】

山代

【映画上映用プロジェクター、DVD】



その他



大坪保育園・コミュニティセンター複合施設の整備

世代間交流や地域の子育て力の促進など地域交流の拠点整備として、公共施設再編（ファシリティマネジメント）の観点も踏まえ、老朽化している大坪保育園と大坪コミュニティセンターの複合施設を整備した。

*保育園とコミュニティセンター（公民館）の複合施設は県内初で全国的にも例が少ない



整備概要

- ・完成 令和4年3月
- ・事業費 5億3,281万1,000円
- ・構造 鉄骨造平屋建
- ・延床面積 1517.05㎡
うちコミュニティセンター754.07㎡
保育園 762.98㎡



松浦健康増進施設の供用開始

佐賀県西部広域環境組合とさが西部クリーンセンター対策協議会で締結した「地域振興策協定」に基づき、松浦コミュニティセンターの隣に、トレーニングやスポーツができ、子どもたちが遊べるキッズスペース等を備える施設を建設し、令和5年4月1日に供用を開始した

使用料の無料化による健康づくりの推進

市民の健康づくり活動の推進を図るため、施設を無料で利用できるよう、市が使用料を負担する

松浦健康増進施設



松浦コミュニティセンター

令和6年度 市長講話

市政の動きについて



iMAR!